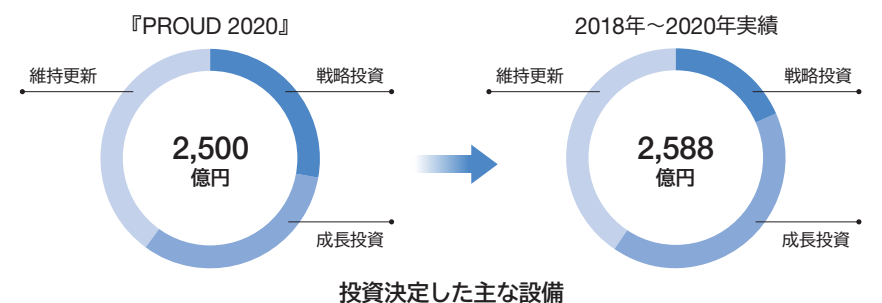


# 前中期経営計画『PROUD 2020』の振り返り

## 4つの経営戦略と主な経営課題の進捗

競争優位の追求	<p><b>コア事業、新事業の成長を目指した継続的な設備投資</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 光学用ポパールフィルム、水溶性ポパールフィルムやアイオノマーシート〈セントリグラス〉などで設備投資を実施し、コア事業の利益拡大に貢献</li> </ul>
新たな事業領域の拡大	<p><b>イソプレン：タイププロジェクトの推進による事業拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ コロナ禍で若干の遅れも2022年後半稼働予定</li> <li>▶ 〈ジェネスタ〉ではグローバルな販売体制を構築(9か国12拠点)</li> </ul> <p><b>炭素材料事業：カルゴン・カーボン社買収の早期シナジー発現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 販売・コスト面でのシナジーを発現。さらなる事業拡大を目指し、欧米に新設備導入を決定</li> </ul>
グループ総合力強化	<p><b>グローバル経営基盤の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ガバナンス強化の一環として、グローバルITシステムを構築し、運用を開始</li> </ul>
環境への貢献	<p><b>環境への貢献</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 自然環境に貢献：活性炭</li> <li>▶ 生活の質(QOL)向上に貢献：〈エパール〉、バイオ由来の〈Plantic〉</li> </ul>

### 設備投資の実施状況



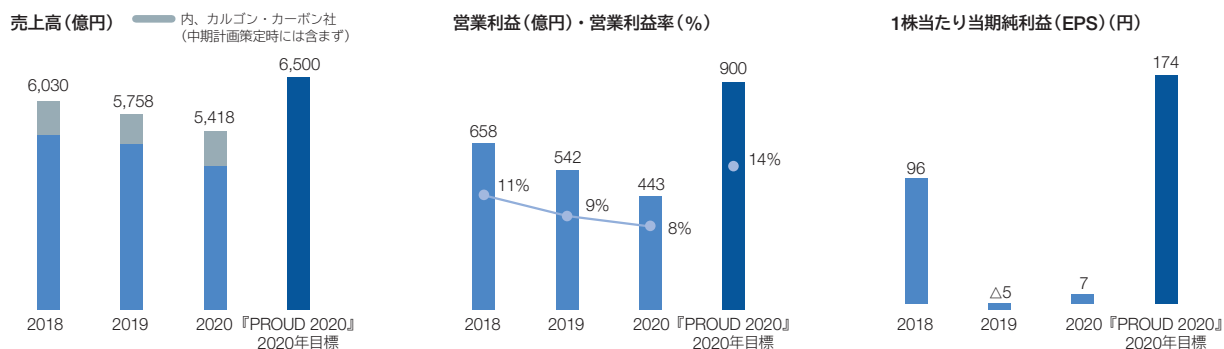
- イソプレン(タイ工場)
- 水溶性ポパールフィルム(欧米工場)
- 光学用ポパールフィルム増設
- カルゴン・カーボン(欧米工場)
- 高効率動力設備の導入(岡山事業所)

### M&Aの実施状況

2018年3月、世界最大の活性炭メーカー、カルゴン・カーボン社を買収  
買収金額：1,093百万USD

### 業績の振り返り

多くの事業で新製品・新興国での販売拡大が遅れたことや、エパール米国工場火災事故の影響、COVID-19感染拡大による景気後退を受け、売上高、営業利益とも目標に達せず



株主還元基本方針：総還元性向35%以上、1株当たり配当金40円以上

2020年度	1株当たり年間配当金 <b>40円</b> (中間：21円、期末：19円)
2019年度	1株当たり年間配当金 <b>42円</b> (中間：20円、期末：22円)
2018年度	1株当たり年間配当金 <b>42円</b> (中間：20円、期末：22円)